

一般廃棄物処理基本計画に関する実績等報告書(平成30年度)

(生活文化部 環境課)

計画の基本情報

計画期間	H 29 ~ R 2 年度	
位置付け	本計画は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第6条第1項に基づき策定するものであり、第2次亀山市総合計画前期基本計画との関連は、基本施策「低炭素・循環型社会の構築」に関わるものである。	
目的・概要	法や条例の目的である「生活環境の保全や公衆衛生の向上」を確保するため、一般廃棄物の適正な処理と減量化、再生利用の推進を図ることを目的とし、今後の本市の一般廃棄物処理に関する基本的事項を示すものである。	
計画の骨格	<pre> graph LR A[ごみ処理基本計画] --> B[清掃・リサイクル事業を取り巻く現状と課題] A --> C[基本的な考え方と目標] B --> D["・人口及び産業の動向 ・ごみ処理の現状 ・現計画の総括 ・将来予測と主な課題"] C --> E["・基本理念 ・基本方針 ・計画目標 ・目標達成に必要なごみ減量化、資源化の原単位 ・ごみ排出抑制等のための方策 ・分別収集するごみの区分と種類 ・排出抑制及び資源化施策後のごみ排出量と資源化量 ・排出抑制及び資源化施策後のごみ排出原単位と資源化率 ・ごみの適正処理及びこれを実施する者に関する基本的事項 ・ごみ処理施設の整備に関する基本的事項 ・その他ごみ処理に関し必要な事項"] F[生活排水処理基本計画] --> G[生活排水処理事業を取り巻く現状と課題] F --> H[基本的な考え方と将来予測] G --> I["・生活排水処理の現状 ・収集・運搬の現状 ・処理の現状"] H --> J["・基本方針 ・処理主体及び体制"] </pre>	

成果指標

成果指標名		単位	現状値	実績値 (H30)	目標値
1	1人1日あたりのごみ排出量(家庭系ごみ)	g/ 人・日	722	726	685
2	1人1日あたりのごみ排出量(事業系ごみ)	g/ 人・日	243	247	207
3	資源化率	%	37.0	33.0	42.0
4	生活排水処理率	%	78.2	82.8	84.0
5					

計画の実績等

取組実績	<p>市民団体と「食品ロス削減」に関する協働事業に取り組み、ごみ減量の啓発活動や施設見学会の開催などを実施し、市民に改めてごみについて考えていただく機会を設けるとともに、広報やケーブルテレビなどを活用した生ごみの水切りや堆肥化などの啓発活動を通じて、家庭系ごみの減量とリサイクルの推進に努めた。また、事業系ごみについては、収集運搬処理業者の搬入ごみ検査を実施し、その結果を全許可業者に通知し、一層のごみ減量とリサイクルについて周知に努めた。</p> <p>さらに資源化率向上のため「雑がみ」に関する調査を収集委託業者、再資源化処理業者に実施し、資源ごみとして行政回収するにあたり課題整理を行った。</p> <p>生活排水処理率の向上を図るため、公共下水道整備事業により供用区域を拡大すると共に、下水道への未接続世帯に対して啓発活動などを行った。</p>
成果	<p>家庭系ごみの1人1日あたりのごみ排出量は、近年搬入件数、搬入量が増加しており、前年度対比で10g増の726gとなったが、ここ数年増加傾向にあった事業系ごみについては、前年度対比で26g減の247gと減少に転じた。</p> <p>資源化率については、古紙類等の店頭回収が充実してきたこともあり、行政回収分の資源化量は減少したものの、小型家電など持ち込みごみから回収可能な廃棄物のリサイクルを積極的に進めていることもあり、前年度と同水準を維持している。</p> <p>生活排水処理率については、公共下水道の供用区域や農業集落排水区域内において、下水道等への接続が行われたことで生活排水処理率は82.8%となり、前年度比で0.3ポイント上昇した。</p>
総合計画推進への寄与度	<p>市民団体との協働事業の実施やごみダイエットサポーターとの連携により、前年度対比でごみ排出量の減少と資源化率の維持は図れたものの、目標値に近づけることはできなかったが、市民等との協働により着実に施策を推進する体制が整ってきている。また、生活排水処理率は、下水道整備を順次進めながら、供用済区域での接続率の向上に努めたことで計画処理率を僅かに上回り、生活排水処理対策の推進に寄与できた。</p>

反省点・課題	<p>啓発活動を中心とした取組に加え、新たなごみ減量施策の検討と早期に資源ごみとして回収可能な廃棄物の資源化を進める必要がある。</p> <p>生活排水処理については、経済的、効率的な処理方式を選択し、生活排水処理施設の整備を進める必要がある。</p>
--------	--

今後の方向性	<p>協働事業は終了したが、引き続き市民等との協働体制を維持し、新たなごみ減量施策や「雑がみ」等の資源ごみ行政回収に向けた取組を着実に進める。</p> <p>生活排水処理施設整備を計画的、効率的に進め、整備された地域において、下水道への接続率の向上を目指す。</p>
--------	---